

要望事項（優先順位 1）

地域資源を活用した北部山間地域の活性化（鹿解体処理施設の設置）について

要 旨

久多では、洛北地域の活性化のため、現在、シカ・イノシシ肉の活用を検討しており、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案に応募しております。

有害獣として捕獲したシカ・イノシシは、法律に基づき、全て山や雑種地に埋設処分されています。これらを適正に処理し、農家民宿等で提供できれば、都市からの来訪者に山里の食文化を体験していただくことや、さらに、地域の特産物としてブランド化することで地域を広くアピールすることが可能となります。

この取組には処理施設の設置が不可欠ですが、コスト面や法的な規制で課題が多くあります。久多自治振興会が中心となって運営管理いたしますので、実現に向け、御指導と御支援をお願いします。

回 答**（総合企画局，産業観光局，左京区役所）**

久多地域の地域活性化として、鹿解体処理施設の設置を「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集（以下、取組提案募集という）に、御応募いただきまして、ありがとうございます。

現在、有害鳥獣捕獲のシカ等は、鳥獣保護管理法の規定に基づき、原則埋設処理をしているところですが、これを食肉として流通させる場合、衛生設備を備えた加工施設の整備だけでなく、適切な捕獲方法や残渣の処理、販路の開拓、採算性の確保など、多くの課題があります。

しかしながら、資源の有効利用や地域活性化の観点から、食肉としての活用は一つの手段になると考えており、地元猟師や地域住民の皆様、民間事業者が主体となって、持続的な経営が見込まれる、施設導入などに対して支援等を検討してまいります。

（参考）「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集について

取組提案募集では、市民、地域、NPO、企業、大学等の皆様から 137 件の提案をいただいております。提案の実現性、効果、熟度、主体的意向、新規性、発展性、本市事業との相乗効果等を総合的に判断し、特に高いと見込まれる 26 件の取組について、総合戦略のリーディング事業に掲載しております。

今後、外部有識者と本市職員によるコーディネーターが、提案の実現に向けて、行政や他の団体等とのマッチングを試みるなど、提案内容を高めるため、一つひとつの提案に対して、コーディネートを行います。